

こんな活動です

# 児童の豊かな人間性と地域創造力の育成をめざした「ふるさと歴史教室」

石川県七尾市

活動名

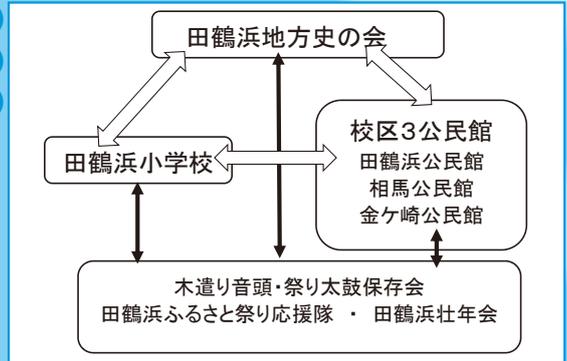
浜っ子「ふるさと歴史教室」

関係する学校名

田鶴浜小学校

| 基本データ       | 学校支援活動      | 統括コーディネーター数 | 地域コーディネーター数 | ボランティア登録数 | 学習支援      | 開始年度         | 国庫補助  | ICT活用      | 企業・NPOとの連携 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|--------------|-------|------------|------------|
|             | 地域未来塾       | 統括コーディネーター数 | 地域コーディネーター数 | ボランティア登録数 | 子供の平均参加人数 | 開始年度         | 国庫補助  | ICT活用      | 企業・NPOとの連携 |
| 放課後子供教室     | 統括コーディネーター数 | 地域コーディネーター数 | 子供の平均参加人数   | 年間開催日数    | 開始年度      | 国庫補助         | ICT活用 | 企業・NPOとの連携 |            |
|             | 実施場所        |             | 学習支援        |           |           | 放課後児童クラブとの連携 |       |            |            |
| 土曜日の教育活動    | 統括コーディネーター数 | 地域コーディネーター数 | 子供の平均参加人数   | 学習支援      | 開始年度      | 国庫補助         | ICT活用 | 企業・NPOとの連携 |            |
| コミュニティ・スクール | 指定日         |             |             |           | 委員数       | 児童生徒数        | 学級数   |            |            |

体制図



**活動の概要**  
 当活動は、田鶴浜の歴史や伝統文化等を次代の担い手である子供たちに語り伝えることによって、子供たちが地域を理解し、地域を愛し、地域に貢献する心が育成されることを期待して、平成20年度に「ふるさと歴史教室」として開設。  
**活動日時** 田鶴浜小学校の総合的な学習の時間を活用し授業時間帯に組み入れる。定期講座は毎月1回（土曜授業）  
**内容** 田鶴浜の歴史・文化・民俗・伝統芸能の学習、現地研修、歴史銘板作成、体験活動、歴史検定等  
**参加者** 田鶴浜小学校5,6年生（6年生が全講座に参加、講座内容によって5年生も参加、保護者・地域住民も参加可）  
**指導者** 田鶴浜地方史の会会員（郷土史に関心のある地域住民（元教員、元会社員、自営業、主婦等））

## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

- 「静」の座学だけでなく「動」の活動として、学習した内容を実際に確認するため、「現地研修」や「体験活動」を行う。現地研修では、地域の人材（公民館長や地域の住民）を講師に迎えるなど、地域との連携・協働を図る。
- ふるさと歴史検定を開催し、80点以上の児童には合格認定証を渡す。
- 児童が学んだ史跡等を、地域住民にも伝えるため、「ふるさと田鶴浜・歴史銘板の里101選」を地域住民と一緒に設置。現在22選設置。
- 児童は、市主催の「ふるさと伝統芸能子ども発表会」で、ふるさと歴史教室で学んだことを発表する。

### 【実施に当たっての工夫】

- 学校及び田鶴浜地方史の会代表の2名の統括コーディネーターが、年度初めに方針（趣旨、活動内容、目指す児童の姿）について確認し、その後、学級担任と地域コーディネーターが綿密な打合せを行い講座を開催。
- 講座の内容は、年度終わりに児童が書く「思い出の記」を参考に決定。
- 平成27年度からは、主講座を土曜授業に組み入れ、余裕を持った活動時間を確保したり、保護者・地域住民への参加を呼びかけている。
- 郷土に残る史跡や資料をもとに郷土の歴史について学び、教科で学んだ歴史内容を深めている。また、教科で学んだ内容を歴史教室で確かめるなど、教科との連携を工夫している。

## ● 事業を実施しての効果・成果

- ◇地方史の会や公民館、地域の各種団体との交流を継続してきたことで、顔見知りが増え、児童の挨拶もよくなった。特に高学年児童の郷土愛や母校愛が目に見えて育ち、学校にも校区にも活気がみなぎり明るくなった。
- ◇講師は、地方史の会会員が交代で当たるが、ほとんどの会員が教壇に立って教えたという経験がなく、分かりやすく教えようと一生懸命に話す姿は、児童にとって新鮮であり、感想等を聞くと感謝の気持ちが深まっていることが分かる。
- ◇保護者、地域、教育関係機関の理解と協力も得られ、児童も地方史の会会員も励みになっている。
- ◇児童の受講姿勢は立派で目が輝いている。私語はなく、メモをとる姿、質問に答える姿、自分や現代と比べて感想を述べる姿から児童の「やる気」「本気」「実践力」が評価できる。



現地研修

田鶴浜発展に尽くした長家菩提寺（東嶺寺）での法話



戦争と平和を考える講座